

令和6年1月17日

第1回倉吉市議会臨時会議案提案理由説明

倉吉市長

皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も市民の皆さまにとって幸せな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年初めての議会となりますので、議案の説明に先立ちまして、一言述べさせていただきます。

まず、能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地域の日も早い復興をお祈りするとともに、本市としてできるだけの支援を行ってまいります。

過去に、私たちは、鳥取県中部地震による被害を経験しました。防災意識を一層高め、地域全体で対策を強化していく必要性をあらためて強く感じたところでございます。市民の皆さまには、非常時の備えや避難の重要性について認識を深めていただきますよう、お願い申し上げます。

さて、県立美術館の開館が来年の3月30日になることが発表され、開館を見据えた取組を本格化させているところです。来館者が、美術館だけでなく、その周辺でも満足度の高い時間を過ごしていただけるよう、モビリティの向上を軸に、“暮らし良し”倉吉を実感していただける周遊滞在型の観光まちづくりを推進しています。そして、まち全体が一体となって盛り上がり、県立美術館のオープンが、倉吉を一層躍進させる機会となるように準備を進めてまいります。

昨年、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行しました。地域経済の回復が見込まれる中、ようやく本格的に交流人口・関係人口の創出と、それに続く定住人口の増加につなげる取組に着手することができました。こうした人口減少対策は、まちの総合力が求められることから、特に若い方の意見に耳を傾け、魅力ある施策を考えていくことが必要であると考えています。

また、地元出身の学生や保護者の皆さまに市内企業を知ってもらうためのデジタル書籍の第2弾を作成したところで、奨学金返済並びに家賃の支援などにも引き続き取り組み、UIJターンや若者など移住者の住宅と働く場所の確保を連動させ、市内企業の雇用確保や人口減少対策につなげていきたいと考えています。

市長に就任して折り返しとなる3年目を迎えますが、引き続き、市民の皆さまとともに、元気な倉吉づくりにしっかり取り組んでまいりますので、議員の皆さまの変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

それでは、本臨時会に提案いたしました諸議案につきまして、その概要をご説明申し上げます。

今議会に提案いたしました議案は、

報告案件	1件	
予算案件	1件	
一般案件	1件	の合計3件であります。

はじめに、報告第1号 議会の委任による専決処分についてであります。

令和5年7月に議決を経て契約した市道みどり町13号線道路災害復旧工事について、請負代金額を減額変更する必要があるため、同年12月26日に専決処分を行ったものです。

次に、議案第1号 令和5年度倉吉市一般会計補正予算（第10号）についてであります。

はじめに、低所得者支援及び定額減税補足給付金についてであります。

食料品等の高騰の影響を受けた生活者への支援のため、一定の所得水準にある世帯に世帯当たり10万円を給付し、また、これらの世帯を含む一定の世帯で18歳以下の児童が扶養されている場合は、1人当たり5万円を加算するもので、合わせて2億1,200万円余を計上するものです。

次に、倉吉未来中心周辺環境整備事業についてであります。

県立美術館周辺のさらなるにぎわいの創出につなげるため、来館者に倉吉パークスクエア全体を周遊していただけるよう、美術館西側集いの広場周辺の景観を整備するもので、その設計委託料として1,900万円余を計上するものです。

次に、農業振興についてであります。

高収益の園芸品目の生産性の向上、導入拡大を推進するため、県と協調して鳥取型低コストハウスの整備等を支援するもので、4,100万円余を計上するするものです。

そのほか、第50回の節目を迎える倉吉春まつり及び市制70周年を記念して開催する博物館特別展「椿絵展」に係る債務負担行為を設定するものです。

以上補正の総額は2億7,300万円余の増額で、補正後の予算総額は、354億2,376万7千円となります。

次に、議案第2号 市道の路線の認定についてであります。

宅地造成により整備され寄付受納した道路を市道として認定するため、道路法第8条第2項の規定により本議会の議決を求めるものであります。

以上、今回提案した諸議案について、その概要をご説明いたしました。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

令和5年度 1月補正予算 会計別一覧表

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計
一 般 会 計	35,149,865	273,902	35,423,767
特 別 会 計 小 計	11,409,305	0	11,409,305
企 業 会 計 小 計	6,197,505	0	6,197,505
合 計	52,756,675	273,902	53,030,577

担当課	財政課		施策		28_財政の健全性の確保			
事業名	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金					予算説明書ページ	9	
補正予算	会計一般	款	14 国庫支出金	項	2 国庫補助金	目	1 総務費補助金	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
449,067	141,275	財源内訳	141,275				0	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を主たる目的とする事業を対象とする交付金。</p> <p>【経過・背景】 令和5年12月22日に令和5年度一般会計原油価格・物価高騰対策及び賃上げ促進環境整備対応予備費の使用が閣議決定され、重点支援地方交付金の増額が措置されたことに伴い、追加交付があることから、補正を行うもの</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 交付金を受け入れ、各事業に充当する。</p> <p>【要求内訳】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 141,275千円  ※住民税均等割のみ課税世帯分(給付費) 101,800千円  ※住民税均等割のみ課税世帯分(事務費) 2,545千円  ※低所得者の子育て世帯への加算分(給付費) 35,850千円  ※低所得者の子育て世帯への加算分(事務費) 1,080千円</p> <p>※今回計上分は2.1.7.64.1低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業に141,275千円充当</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								

担当課	企画課		施策		24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進			
事業名	倉吉未来中心周辺環境整備事業					予算説明書ページ	10	
補正予算	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
66,903	19,481	財源内訳			12,500		6,981	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 令和7(2025)年春に開館する鳥取県立美術館の来場者(年間約20万人)を、倉吉パークスクエア全体に周遊させ、賑わいを創出するもの。</p> <p>【経過・背景】 集いの森(仮称)エリアは、県立美術館から倉吉パークスクエア全体へ人の流れを作る結節点であることから、令和5年11月議会において、倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備基本計画に係る予算が可決された。 令和6年1月に基本計画を策定したことから、実施設計を行うための予算として増額補正するもの。</p>								
事業の概要(積算根拠等)								
<p>【事業内容】 令和6年1月に策定した倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備基本計画に基づき、日常的に様々な人々が集まり、交流し、つながっていく「結節点」となる倉吉パークスクエア集いの森(仮称)のランドスケープ工事の実施設計を行うもの。</p> <p>【要求内訳】 委託料 【新規】倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備設計業務委託料 19,481千円  [業務内容] ランドスケープ工事の実施設計  [業務範囲] 県立美術館西側エリア約3,800㎡  [業務期間] 6か月間(R6.1月下旬~R6.7月上旬)</p>								
主な特定財源(名称、金額等)								
【地方債】地域活性化事業債 13,996,058円(起債対象額)×90%≒12,500千円								

担当課	福祉課		施策	10_生活困窮者の自立支援				
事業名	【交付金事業】低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業			予算説明書ページ				
補正予算	会計	一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
補正前	補正額 (千円)		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
0	212,700		財源内訳	141,275				71,4
事業の目的・意図								
<p><b>【目的・意図】</b> エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援を行うもの。</p> <p><b>【経過・背景】</b> 令和5年11月2日に閣議決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に係る重点支援地方交付金を用い、低所得者支援及び定額減税を補足する給付が実施されることを受け、補正を行うもの。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得世帯支援給付金：住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯あたり10万円を給付する。</li> <li>・こども加算：住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して、同一世帯の18歳以下の児童一人あたり5万円を給付する。</li> </ul> <p><b>【要求内訳】</b></p> <p>負担金補助及び交付金 190,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得世帯支援給付金 130,000千円 算出根拠：100千円/世帯×1,300世帯</li> <li>・こども加算 60,000千円 算出根拠：50千円/児童×1,200人</li> </ul> <p>人件費 9,086千円 (会計年度任用職員2人・15月、時間外手当)</p> <p>需用費 676千円 (事務用消耗品、封筒印刷)</p> <p>役務費 2,100千円 (郵送料、振込手数料)</p> <p>委託料 9,000千円 (システムエンジニア委託費)</p> <p>使用料及び賃借料 1,838千円 (コピー機使用料)</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 141,275千円								

1.倉吉パークスクエア 集いの森 工事費検討

		A.ランドスケープ工事費 (経費20%込・消費税抜)			B.物産館及びCAFÉ工事費 (経費20%込・消費税抜)			A+B工事費総額 (経費25%込・消費税抜)
		部位	対象面積	工事費単価	工事費	対象面積	工事費単価	
タイプ1	集いの広場+水景廻り+図書館前広場廻り+ガイダンス施設廻り	3,800 m <sup>2</sup>	36,000 円/m <sup>2</sup>	¥136,800,000	200 m <sup>2</sup>	254,100 円/m <sup>2</sup>	¥50,819,925	¥187,619,925
		税込み価格			税込み価格			¥206,381,918

2.ランドスケープの想定対象部位・面積の検討

部位	個別面積	合算面積
集いの森	1,800 m <sup>2</sup>	
水景廻り	680 m <sup>2</sup>	2,480 m <sup>2</sup>
図書館前広場廻り	1,020 m <sup>2</sup>	3,500 m <sup>2</sup>
大御堂ガイダンス施設廻り	300 m <sup>2</sup>	3,800 m <sup>2</sup>

3.ランドスケープ工事費・平米単価の検討

外構工事費 (消費税抜)	
土持込み無・既存樹木のみ利用・必要最小限・直接工事費	30,000 円/m <sup>2</sup>
経費20%	6,000 円/m <sup>2</sup>
合計	36,000 円/m <sup>2</sup>

4.建築工事費・平米単価の検討

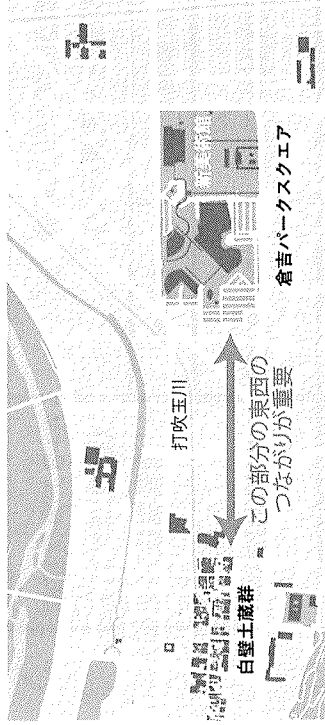
物産館及びCAFÉ工事費	
木造 (消費税抜)	
項目	単価
木造坪単価	700,000 円/坪
1坪のm <sup>2</sup> 数	3.30579 m <sup>2</sup>
木造m <sup>2</sup> 単価	211,750 円/m <sup>2</sup>
諸経費20%	42,350 円/m <sup>2</sup>
m <sup>2</sup> 単価総額	254,100 円/m <sup>2</sup>



# パークスクエアから白壁土蔵群まで、倉吉のまちを東西につなげ、『きっかけ』となる整備

令和6年1月議会 議案説明会資料  
 令和6年1月17日(水)  
 倉吉市総務部企画課

- 中心市街地を東西につなげる歩行空間と『こんな場所ならば住んでみたい』と感じる倉吉の風土と調和したまちづくり

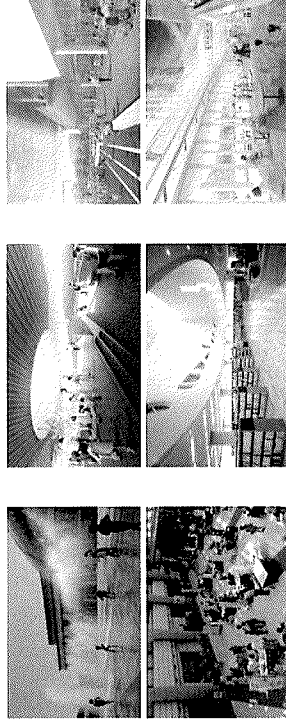


- 活気あふれる元気なまちを目指す市の取り組み
  - ※ 関係団体・市民からのヒアリング(2020年)
  - ※ 『空間活用アイデアコンペ』を実施(2021年)
  - ※ 『ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉プロジェクト』をスタート
  - ※ リス舎跡地整備の樹木を使い集いの広場でイベント(2023年)



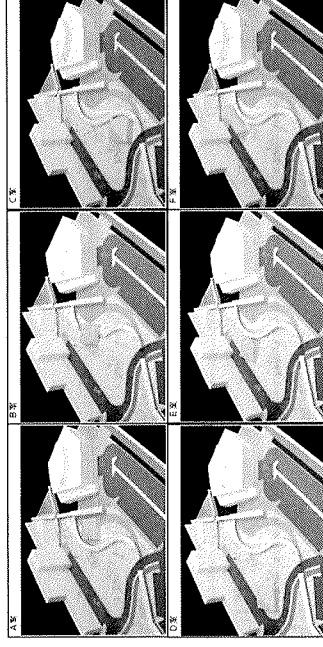
木漏れ日の下での読み聞かせやゲームを実施、平日でも多くの親子が参加

- 倉吉市の整備方針  
 県立美術館開館後の新たな人の流れを踏まえた結節点の整備



- 『集いの森(仮称)』コンセプト
  1. 倉吉市民の『居場所』となる施設
  2. 豊かな屋外をつなぐ『屋外空間』
  3. パークスクエアの『交流』施設
  4. 『安心・安全』に配慮された計画
  5. 美術館や図書館と連携できる『冗長性』

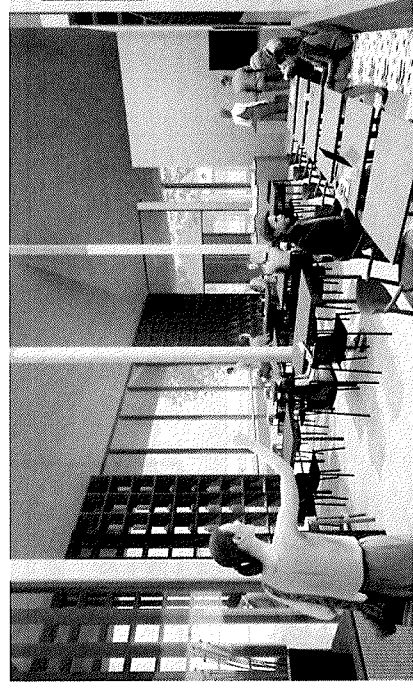
- 様々な角度から整備案を検討



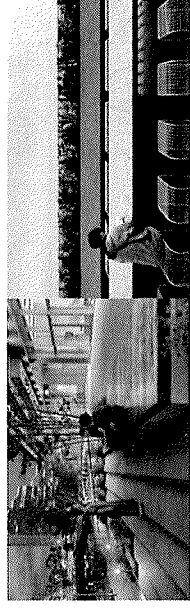
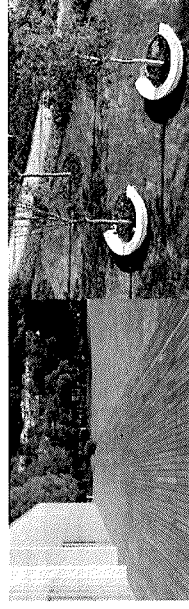
建物のボリュームとゾーニングの検討



集いの広場側から見た穏やかな佇まい



高天井の木質に包まれた居心地の良いカフェ



様々な手法を用いてパークスクエアの東西をつなげる結節点を創出

議案第1号 令和5年度倉吉市一般会計補正予算（第10号）に対する附帯決議

この附帯決議案を、次のとおり提出する。

記

附帯決議事項

- 1 第1条、歳入歳出予算の補正中、第2款総務費に倉吉未来中心周辺環境整備事業として計上されている予算の執行にあたっては、議会に対して丁寧な説明を尽くすこと。

令和 6年1月 17日提出

提出者 倉吉市議会議員

福井典子

賛成者

”

田村閑美

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

倉吉市議会議長 福谷 直美 様